

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	<b>Recurrence rates of treated basal cell carcinomas. Part 3: Surgical excision</b>	
	論文の日本語タイトル	基底細胞癌の再発率。パート3：外科的切除	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ( 1 )	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ18-5	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( IV )	
	Pubmed ID	1592998	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Journal of Dermatologic Surgery and Oncology	
	雑誌 ID		
	巻	18	
	号	6	
	ページ	471-476	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 ( 1 )	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 ( 2 )	
発行年月	1992		
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Silverman M	Department of Dermatology, New York University School of Medicine
	その他著者 1	Kopf A	
	その他著者 2	Bart R	
	その他著者 3	Grin C	
	その他著者 4	Levenstein M	
	その他著者 5		
	その他著者 6		
その他著者 7			

一次研究の 8項目	目的	外科的切除後の基底細胞癌の再発に關与する因子を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	米国の大学病院	
	対象者	初回治療基底細胞癌 588 例	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず ( 3 )	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず ( 3 )	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず ( 22 )	
	介入 (要因曝露)	外科的切除 (切除マージンの記載なし)	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	5年再発率	1.主要 2.副次 3.その他 ( 1 )
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
主な結果	症例全体の 5 年再発率は 4.8%。比例ハザードモデルによる多変量解析では、部位 (頭部)、性別 (男) が独立した有意な再発予測因子であった。 5 年再発率は、頸部、体幹、四肢は 0.7%、頭部で腫瘍径 6mm 未満は 3.2%、頭部で 6-9mm は 8%、頭部で 10mm 以上は 9%であった。整容効果としては、非再発症例のうちの 85%で good から excellent の評価であった。		
結論	外科的切除は頭部以外においては極めて有効な治療法である。再発危険部位である頭部においても、5mm 以下の病変であれば高い治癒率が期待できる。		
備考			
レビューワー コメント	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV) ニューヨーク大学による一連の報告の 1 つである。症例数が多くフォロー期間も長いため、再発危険因子のデータとしても信頼度は非常に高い。	